

「米里村役場」解体 地区民ボランティアで！

明治 年初め学校として建てられた建物を明治 年人首村役場として使われるようになった。明治 22 年町村制施行により人首村から米里村に村名が変更になり米里役場となる。その後昭和 30 年[1955]1 町 9ヶ村が合併し、江刺町になり、米里支所として使われた。

昭和 33 年 11 月江刺市になり、その任を終えた。その後元の所有者に返還されたが、事情があつて壊しかねていました。10 年程前から老朽化も激しく、どうにかしなければとは言いつつも、事が進まない状況でしたが、今にも崩壊しそうで、危険な状態に春の例大祭前に整理しようと九区自治会長家子伸一さんを中心に九区の皆さんが立ち上がり、大内住建(代表大内喜三さん)、米里振興会の支援のもとに区長会や地区民 30 名程が 4 月 27 日・28 日に無料奉仕で取り壊し、概ね整備作業が終了し、春祭りを迎えることができました。昼食は振興会から、おやつ等は菅慶商店、八代商店さんから差し入れしていただきました。ありがたい！作業を見た地区の方々は、「感動した！」「無料奉仕でよくやるな！ご苦労さん」と声をかけてくれました。多謝！今後は残材の処理を進めていく予定です。所有者も大変感謝しておりました。又、この役場には「遠野物語」の柳田國男、地質調査に訪れた宮沢賢治も多分訪れていたと思われるだけに、米里出身者には懐かしい役場。跡地に説明板を建てたいと思う。現在旧米里村役場の写真を搜索中。







「かもしかの親子に遭遇」

人首丸墓墳整備のための調査に行った帰り、大森林道から二股に下りる林道でカモシカの親子に会いました。さすがに親は子供を隠していましたが、少し離れると子どもが前に出てくれました。威嚇しているのだと思いますが、とてもかわいかったです。

それでもカモシカは増え、農業・林業への被害は大きいです。いつまで天然記念物なのでしょうか？

